

社会教育委員会議 令和5年5月定例会 会議録

- [事務局] 伊勢原市教育委員会教育部社会教育課  
[開催日時] 令和5年5月19日(金) 午後3時30分～午後5時45分  
[開催場所] 伊勢原市立中央公民館3階 会議室B  
[出席者] 古里委員(議長)、石塚委員(副議長)、白鳥委員、岩崎委員、板倉委員、杉山委員、園山委員、久保菌委員、鶴田委員、細谷委員、今井委員、須永委員  
山口教育長、大山教育部長、立花歴史文化推進担当部長(兼)歴史文化担当課長、林図書館・子ども科学館長  
社会教育課(杉山課長、尾上係長、田原主事)  
[公開の可否] 公開可  
[傍聴者数] 0名

〈審議の経過〉

1 開会 … 社会教育課係長

2 委嘱式等

- (1) 委嘱状交付
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 事務局職員の紹介
- (5) 正副議長(正副委員長)選出

3 5月定例会

- (1) 報告事項
  - ①伊勢原市教育委員会(社会教育関係)の概要について
  - ②地域学校協働活動推進事業の進捗状況について
- (2) 協議事項
  - ①伊勢原市立図書館協議会委員の推薦について
  - ②社会教育委員会議研究テーマについて
- (3) その他

4 会議要旨

(1) 報告事項

議長 それでは(1)報告事項の①「伊勢原市教育委員会(社会教育関係)の概要について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、伊勢原市教育委員会(社会教育関係)の概要について説明。

○伊勢原市教育委員会(社会教育関係)の概要について【資料1】

○令和5年度公民館職員名簿【参考資料1】

議長 ただいま、事務局から説明のあった「伊勢原市教育委員会(社会教育関係)の概要について」、御意見、御質問等あればお願いします。

委 員 〈質疑なし〉

議 長 それでは続きまして、報告事項の②「地域学校協働活動推進事業の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、地域学校協働活動推進事業の進捗状況について説明。  
○地域学校協働活動推進事業の進捗状況について【資料2】

議 長 ただいま、事務局から説明のあった「地域学校協働活動推進事業の進捗状況について」、御意見、御質問等あればお願いします。

委 員 〈質疑なし〉

## (2) 協議事項

議 長 議事の(2)協議事項①「伊勢原市図書館協議会委員の推薦について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、伊勢原市図書館協議会委員の推薦について説明した。  
○伊勢原市図書館協議会委員の推薦について【資料3】

議 長 ただいま、事務局から説明のあった「伊勢原市図書館協議会委員の推薦について」、御意見、御質問等あればお願いします。

事務局に一任します。

委 員  
主 事 事務局としては、伊勢原市図書館協議会委員を現在お願いしている板倉委員に引き続き委員をお願いしたいと思います。

〈拍手全員〉

委 員  
議 長 全会一致により、板倉委員を伊勢原市図書館協議会委員に推薦します。

議 長 それでは続きまして、協議事項の②「社会教育委員会議研究テーマについて」、事務局から説明をお願いします。

事務局 配付資料に基づき、社会教育委員会議研究テーマについて説明した。  
○社会教育委員会議研究テーマについて【資料4】  
○伊勢原市立地適正化計画の概要【参考資料2】  
○広報いせはら第1183号 令和元年9月1日【参考資料3】

委 員 研究テーマの2, 3について私が提案しました。提案理由としては、課題事項を提示して、共通認識を持ちながら研究テーマを議論していければよいと思ったからです。

委 員 資料4に記載のあるマイノリティやデジタルリテラシーとはどういった意味ですか。

議長 研究テーマの2, 3について、なぜこういったテーマ設定が出てきているのかを共有した方が、みなさん協議しやすいかと思しますので、テーマを考えられた時の問題意識やご自身の体験等をご紹介いただいてもよろしいでしょうか。また併せてマイノリティとデジタルリテラシーの意味もお願いします。

委員 マイノリティは少数派という意味です。最初に考えたのは、障がい者の生涯学習の話が出た際に、問題は障がい者だけではないと思い、マイノリティという言葉を使いました。

基本的に会議等は、多数決で決めているから多数に有利な方向に進み、常に少数は切り捨てられてしまうと思っています。

教員を勤めていた中で思うのは、親が外国の子どもは、当然親から言葉を教わるから、日本語がよくわからない子どもが多いと感じました。

コンパクトシティプラスネットワークについては、例えば、今後高齢化に伴い車の運転ができなくなった方が増え、さらにバスの本数が減少した状況になった時、その人たちにとっては、コンパクトシティ化を進めることは、サービスの低下につながると思います。

公民館等公共施設を利用していた方が、施設が利用できなくなることを防ぐ方策や利便性を保障する方法を考えていかないといけないと感じました。

議長 研究テーマの2, 3について問題意識を共有しましたが、障がい者の生涯学習について事務局側が提案した際の問題意識も共有したいと思いますがいかがでしょうか。

事務局 第2次伊勢原市生涯学習推進指針で、「誰もが障がいの有無にかかわらず学び続けることができるよう、障がい者の生涯学習支援に係る事業等の充実や情報収集、提供、体制づくりを検討します。」と方針を決めた中で、現在、障がい者の生涯学習を推進できていないことから研究テーマとして提案いたしました。

委員 研究テーマを検討するにあたって、この場でなくてかまわないので、資料4の障がい者手帳保有数等の近隣市のデータを教えていただければと思います。

事務局 近隣市のデータと比較や他の市町村でどのような取り組み事例があるのかというのを参考にしながら、伊勢原でも何ができるのか検討する必要があるのではないかと思います。

委員 社会教育委員会議の研究について、最終的な成果の扱いをどうするのか決めておきたいと思っています。

委員 平成30年に神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会の担当だったことから「日本遺産のまち伊勢原」と「伊勢原の健康づくり」をテーマに発表を行いました。

議長 研究の成果の方法は、色んなやり方があると思います。例えば議論をまと

めて文章化して公表し、さらにホームページで掲載や教育委員会議で報告するというのも方法だと思います。

また、市民向けに学習会を開くというのもあると思います。

委員 研究した成果を自治会の方々等を集めて、お伝えするような方法で行えれば地域との連携作りにつながっていくのではないかと期待しています。

委員 研究内容について、教育育委員会から諮問されれば、答申として教育委員会に報告することができます。または、建議という形で教育委員会に意見を述べることもできるので、そのどちらかで成果として残していくことが必要だと思います。

委員 研究内容も大切ですが、社会教育委員会議で何を指すのかというところが議論ではないかと思います。

最終的に話し合ってきたことを文章でまとめて、市民の皆様に周知し、さらに学習会という形で市民の皆様と一緒に学び合う機会を設けた方がよいのではないかと思います。

ついでには、事務局に最終的に成果を還元する形として、学習会を開催したいというのが社会教育委員会議の中で意見が出ていることをぜひ持ち帰ってほしいと思います。

また、今後の進め方について研究テーマを決める回答票の記入もこのままではできないと思いますがいかがでしょうか。

委員 3つの研究テーマからどれを選ぶかの話になると、コンパクトシティプラスネットワークと社会教育については、コンパクトシティが、市の長期的な計画でテーマとしても大きいので、それと社会教育を結びつけるのは、成果として残せるのかという懸念があります。

その他の2つの研究テーマについては、深掘りもできますし、別の研究テーマでもそのような観点で研究テーマが設定できればと良いと思います。

成果の発表については、予算が多くかかるものでなければ実施できると思います。

委員 コンパクトシティプラスネットワークと社会教育については、議論をする際の問題意識の共有として提案をしたため、研究テーマの候補から取り下げて良いです。

事務局 ここで話し合われた内容は、ぜひ市民に還元できる形で残した方が良いと思います。

また、アウトプットも大事ですが、今何が課題なのかという議論がないまま決めても仕方がないのではないかと思います。

市民にとってそれが本当に有益なアウトプットになるのかどうか考えなければならぬというのが一つです。

もう一つは、「伊勢原市生涯学習推進指針の改定について」の答申を私自身強く受け止めています。ついでには、その答申を引き継ぐ形で何か研究に結びつけていただければ、研究する意味にも繋がってくるのではないかと思います。

議 長 今後の進め方についてですが、3つの研究テーマから選択するのではなく、むしろご自身が何を社会教育や生涯学習、あるいは学校の先生もいらっしゃるので学校から見た上で何が課題かというのを記述していただき、事務局側でテーマを再設定した方がよいのではないかと思います。

またその際に、本日配付されている「第2次生涯学習推進指針」の内容を意識しながら皆さんが課題として考えていることを記述していただきたいと思います。

なお、9月定例会時は、テーマ設定で協議を行いたいと思います。

事務局側はこの進め方でよろしいですか。

事務局 いただいたご意見のとおり進めさせていただきます。

回答票については、新たに作成し、送付から約1ヶ月程度を提出期限にしたいと思います。

### (3) その他

事務局 配布資料に基づき「第2次伊勢原市生涯学習推進指針」、「令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会の開催」、「令和5年度伊勢原市教育委員会人権社会教育推進事業年間計画」、「第28回いせはら市展表彰式」「市指定文化財特別公開」、「2023子ども読書フェスタ」「科学館フェア2023」について説明した。

## 5 閉会

副議長 閉会の辞

以 上